

2025 年 12 月 1 日

2025 年度 中間連結決算

インバウンドを中心とした国際線旅客増や万博効果などにより増収増益

関西エアポート株式会社は、2025 年 4 月から 2025 年 9 月までの第 11 期会計年度中間連結決算において、営業収益は 1,397 億円、営業利益は 394 億円、経常利益は 340 億円、当期純利益*は 226 億円を計上しました。

当期は、インバウンドを中心に国際線航空需要が増加したことや万博効果などにより、前年度と比較すると、営業収益は 18%の増加、営業利益は 29%の増加、経常利益は 36%の増加、当期純利益は 34%の増加となりました。

(連結損益計算書)

(単位：億円)

	2024.4-2024.9	2025.4-2025.9	増減	%
営業収益	1,180	1,397	218	+18%
外部費用	(651)	(772)	(120)	+18%
EBITDA	528	626	97	+18%
減価償却費	(222)	(231)	(9)	+4%
営業利益	306	394	88	+29%
経常利益	251	340	89	+36%
当期純利益*	169	226	57	+34%

* 「当期純利益」は、「当社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

(航空需要の状況)

3 空港合わせた航空機発着回数は 19.7 万回（前年度比+8%）、航空旅客数は 2,753 万人（前年度比+11%）となりました。

国際線については、外国人旅客数が過去最高を更新しました。特に中国方面の航空機発着回数および航空旅客数の増加がけん引し、国際線旅客便発着回数および国際線旅客数は、関西国際空港開港以来、過去最高を記録しました。

国内線については、航空機発着回数は前年度並みでしたが、旅客数は前年度比+5%と増加しました。

また、国際線チャーター便が就航した神戸空港における総旅客数は 212 万人で、年度上半期として過去最高を記録しました。

	2024.4-2024.9	2025.4-2025.9	増減	%
航空機発着回数（万回）	18.2	19.7	1.5	+8%
関西国際空港	9.7	10.9	1.2	+12%
大阪国際空港	6.9	7.0	0.1	+2%
神戸空港	1.6	1.9	0.2	+14%
航空旅客数（万人）	2,470	2,753	283	+11%
関西国際空港	1,534	1,720	186	+12%
大阪国際空港	753	821	67	+9%
神戸空港	182	212	29	+16%

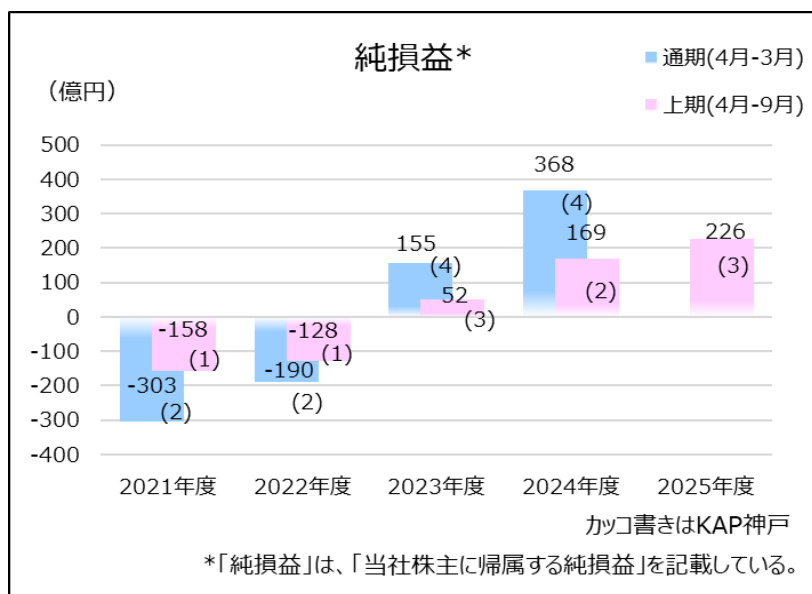
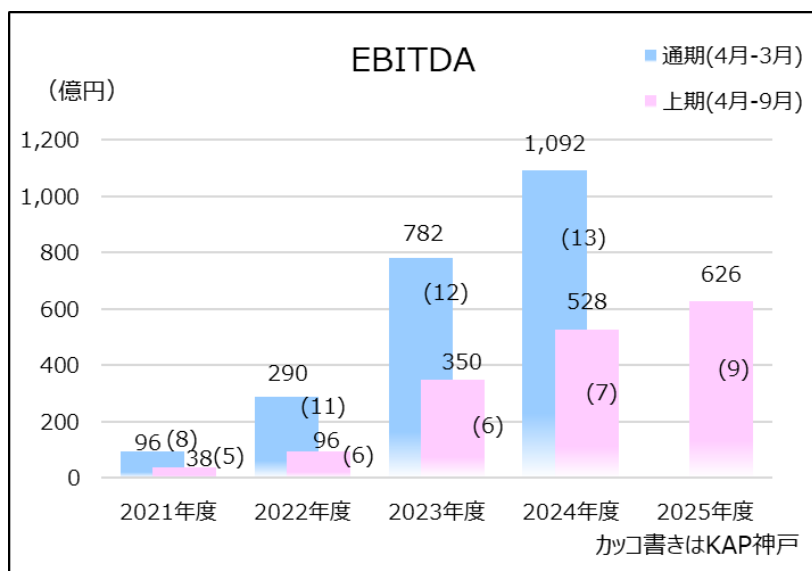
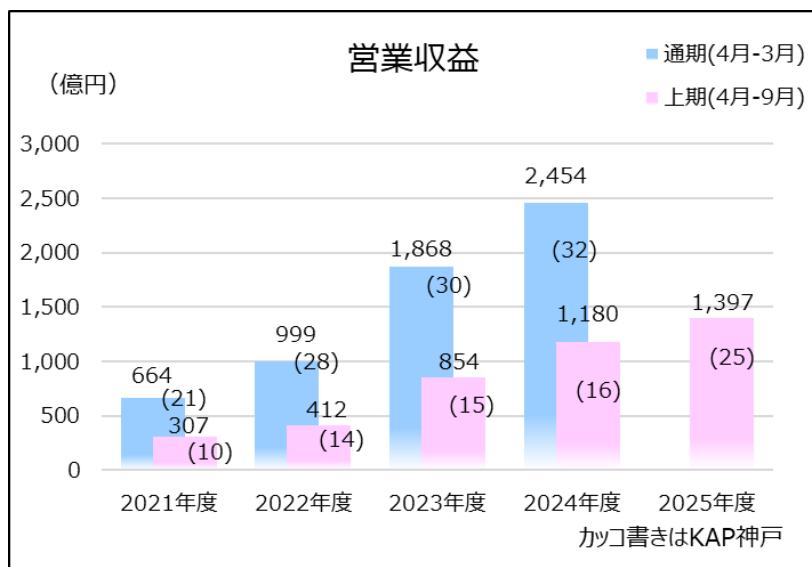
（連結貸借対照表）

2025年9月30日現在における財政状態は、前期末と比較すると公共施設等運営権が償却により減少した結果、資産合計は1兆5,808億円となりました。また、運営権対価の支払いにより、公共施設等運営権に係る負債や未払金が減少した結果、負債合計は1兆4,777億円となりました。

（単位：億円）

	2025.3.31 現在	2025.9.30 現在	増減
流動資産	1,540	1,637	97
固定資産	14,424	14,171	(252)
資産合計	15,964	15,808	(155)
流動負債	907	678	(229)
固定負債	14,252	14,099	(153)
負債合計	15,159	14,777	(382)
株主資本	769	995	226
その他の包括利益累計額	14	14	0
非支配株主持分	21	22	1
純資産合計	804	1,031	227
負債・純資産合計	15,964	15,808	(155)

(参考資料) 連結決算の推移



【報道関係の方からのお問い合わせ先】
 関西エアポート株式会社
 グループコーポレートコミュニケーション部
 パブリックリレーション
 Tel : 072-455-2201

連 結 損 益 計 算 書

〔 自 2025 年 4 月 1 日 〕
〔 至 2025 年 9 月 30 日 〕

(単位: 百万円)

営 業 収 益		139,729
営 業 原 価		85,127
営 業 総 利 益		54,601
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		15,178
営 業 利 益		39,422
営 業 外 収 益		641
受 取 利 息 及 び 配 当 金	297	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	167	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	176	
営 業 外 費 用		6,019
支 払 利 息	5,990	
支 払 手 数 料	18	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	10	
経 常 利 益		34,044
特 別 利 益		80
固 定 資 産 売 却 益	0	
補 助 金 収 入	79	
特 別 損 失		897
固 定 資 産 除 却 損	122	
固 定 資 産 売 却 損	0	
固 定 資 産 圧 縮 損	49	
更 新 投 資 に 伴 う 撤 去 費 用	724	
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		33,227
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	3,595	
法 人 税 等 調 整 額	6,905	
中 間 純 利 益		22,725
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益		90
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益		22,634

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結貸借対照表

[2025年9月30日現在]

(単位: 百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	163,729	流 動 負 債	67,753
現 金 及 び 預 金	127,121	買 掛 金	5,215
売 掛 金	12,981	未 払 金	9,582
契 約 資 産	379	未 払 費 用	5,512
商 品	6,515	1年内返済予定の長期借入金	5,220
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,253	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,783
1年内回収予定の差入保証金	2,245	未 払 法 人 税 等	4,447
未 収 金	7,514	契 約 負 債	3,183
そ の 他	5,716	賞 与 引 当 金	2,211
貸 倒 引 当 金	△ 0	ポ イ ン ト 引 当 金	51
		そ の 他	1,546
固 定 資 産	1,417,106	固 定 負 債	1,409,936
有 形 固 定 資 産	31,883	社 債	4,860
建 物 及 び 構 築 物	3,845	長 期 借 入 金	187,432
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	18,745	公 共 施 設 等 運 営 権 に 係 る 負 債	1,145,273
工 具 器 具 備 品	5,003	特 別 修 繕 引 当 金	52,306
土 地	547	退 職 給 付 に 係 る 負 債	7,197
建 設 仮 勘 定	3,666	そ の 他	12,866
そ の 他	74		
無 形 固 定 資 産	1,279,602	負 債 合 計	1,477,690
公 共 施 設 等 運 営 権	1,189,827	純 資 産 の 部	
更 新 投 資 に 係 る 資 産	87,913	株 主 資 本	99,496
そ の 他	1,861	資 本 金	25,000
投 資 そ の 他 の 資 産	105,621	資 本 剰 余 金	25,000
投 資 有 価 証 券	1,360	利 益 剰 余 金	49,496
差 入 保 証 金	82,785	その他の包括利益累計額	1,417
繰 延 税 金 資 産	19,319	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1,417
そ の 他	2,162	非 支 配 株 主 持 分	2,231
貸 倒 引 当 金	△ 6	純 資 産 合 計	103,145
資 産 合 計	1,580,836	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,580,836

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 34,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14 カ国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、NTT 西日本株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2025年度 中間連結決算

2025.12.1

Shaping a New Journey



アジェンダ

- 2025年度 中間連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2025年度上半期の主な取り組み
- 質疑応答





2025年度 中間連結決算の概要

インバウンドを中心とした国際線旅客増や万博効果などにより増収増益

【単位：億円】

1. 関西国際空港の国際線旅客は、インバウンドを中心に大きく増加し、上半期として過去最高

2. 国際線旅客の増加に伴う増収に加え、万博効果もあり、営業収益は大きく増加

3. 継続的なコスト管理により、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも増加

	2024.4-2024.9	2025.4-2025.9	増減	%
営業収益	1,180	1,397	+218	+18%
EBITDA	528	626	+97	+18%
営業利益	306	394	+88	+29%
経常利益	251	340	+89	+36%
当期純利益*	169	226	+57	+34%

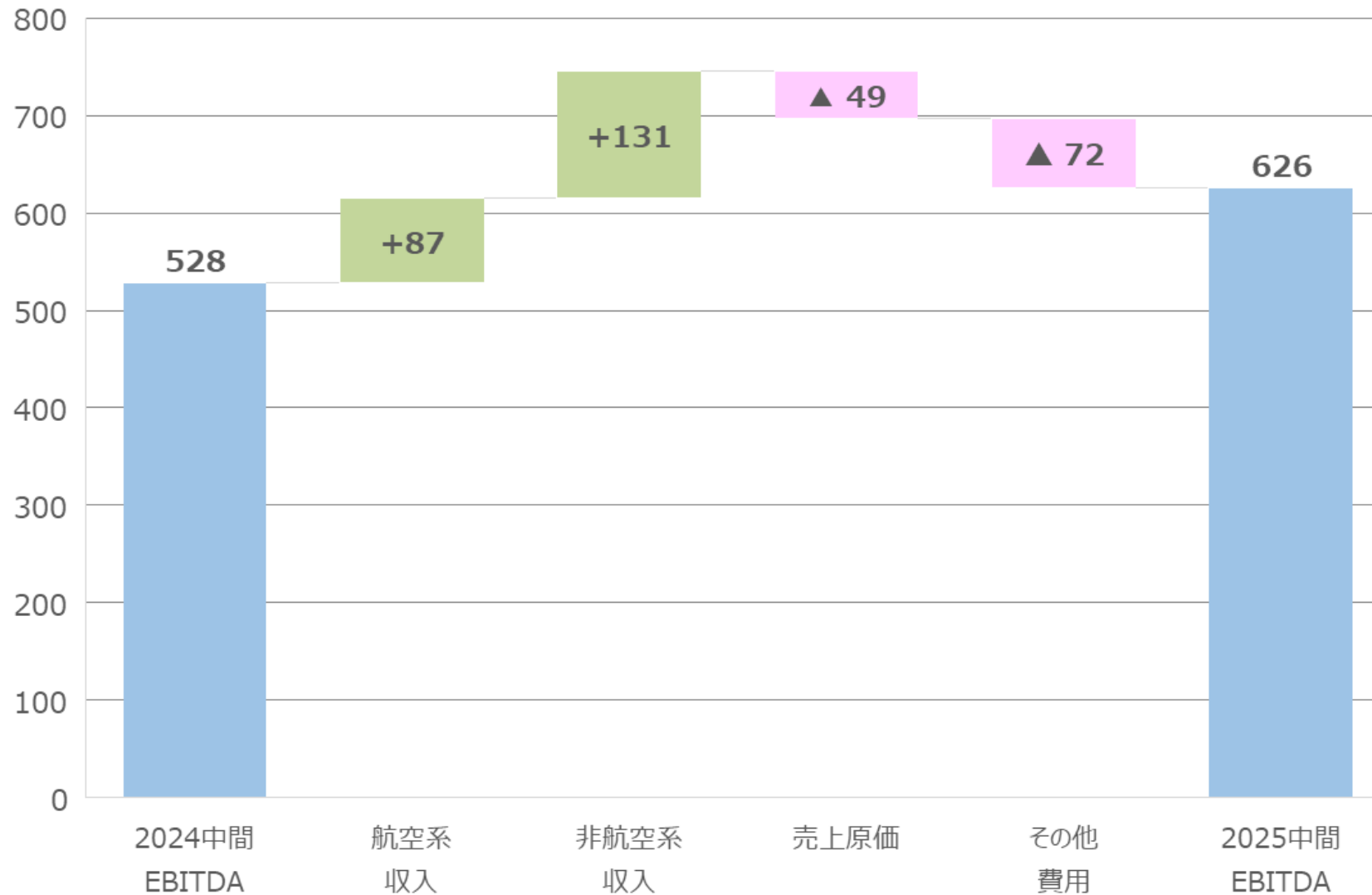
経営成績

【単位：億円】

	2024.4-2024.9	2025.4-2025.9	増減	%
営業収益	1,180	1,397	218	+18%
航空系	473	560	87	+18%
非航空系	706	837	131	+19%
営業費用（減価償却費除く）	(651)	(772)	(120)	+18%
EBITDA	528	626	97	+18%
減価償却費	(222)	(231)	(9)	+4%
営業利益	306	394	88	+29%
営業外損益	(55)	(54)	1	(2%)
経常利益	251	340	89	+36%
特別損益	(6)	(8)	(2)	+39%
法人税等、非支配株主帰属損益	(76)	(106)	(30)	+39%
当期純利益*	169	226	57	+34%

EBITDA（前年比）

【単位：億円】



バランスシート

【単位：億円】

公共施設等
運営権等

公共施設等
運営権に係る負債等

	2025.3.31現在	2025.9.30現在	増減
流動資産	1,540	1,637	97
うち 現金及び預金	1,168	1,271	103
固定資産	14,424	14,171	(252)
資産合計	15,964	15,808	(155)
流動負債	907	678	(229)
固定負債	14,252	14,099	(153)
負債合計	15,159	14,777	(382)
株主資本	769	995	226
その他の包括利益累計額	14	14	0
非支配株主持分	21	22	1
純資産合計	804	1,031	227
負債・純資産合計	15,964	15,808	(155)
【参考】			
有利子負債残高	2,000	1,975	(24)



営業収益分析

航空系：3空港計発着回数・旅客数ともに年度上半期として過去最高を記録

→ **3空港合計の発着回数は19.7万回（2024年度上期比108%）と年度上半期として過去最高を記録。**
3空港合計旅客数も2,753万人（同111%）と、同様に過去最高を記録。

→ 国際線旅客数・発着回数

関西国際空港国際線旅客便の発着回数は76,070回で、前年比121%と、年度上半期として過去最高を記録。
関西国際空港の国際線旅客数は、引き続き外国人旅客数の成長に牽引され、国際線旅客数全体で1,386万人と、同様に過去最高を記録。
また、2025年4月より国際線チャーター便が就航した神戸空港における国際線旅客数は26万人となった。

→ 3空港国内線旅客数・発着回数

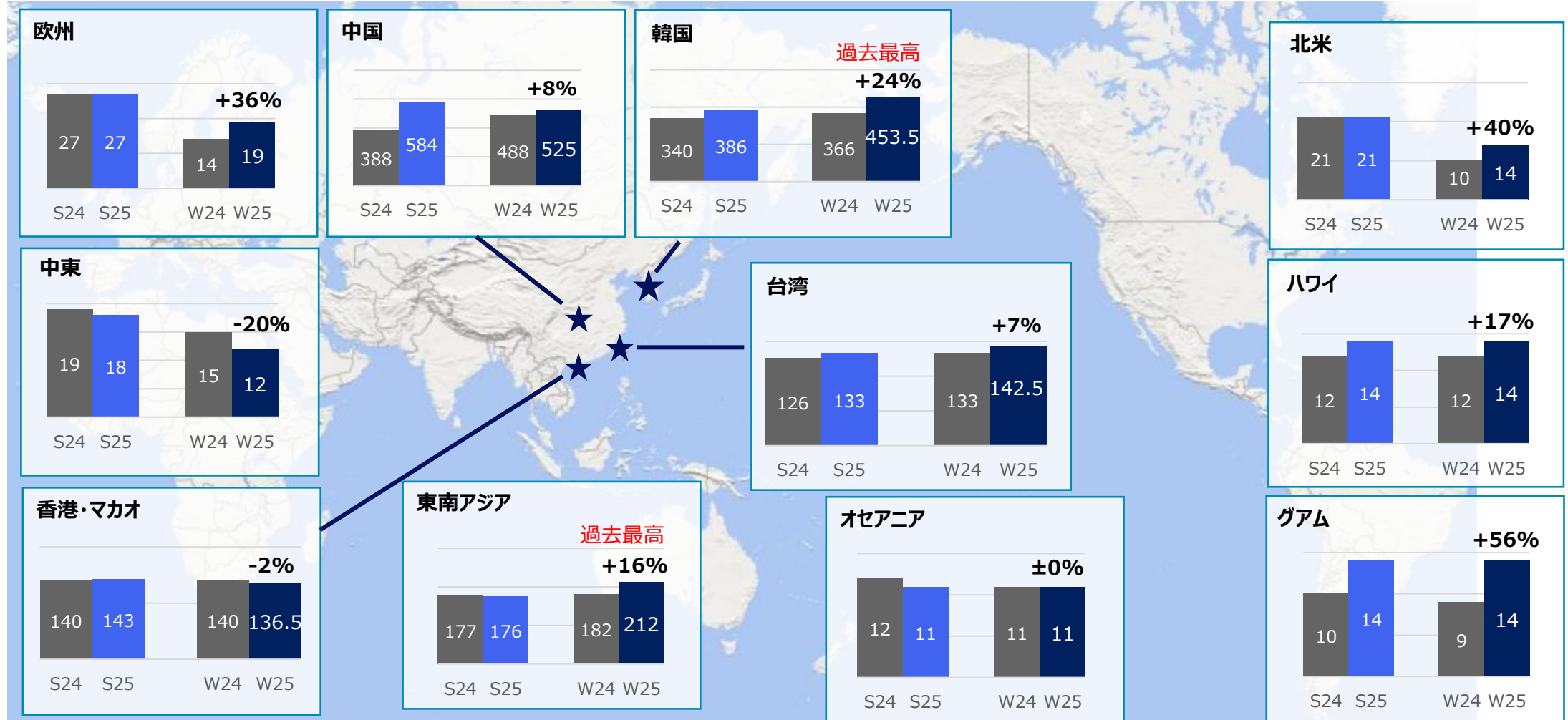
3空港における国内線の発着回数は109,451回で、前年をやや上回る結果。
3空港合計の国内線旅客数は前年比105%となった。

	2024年度 上期	2025年度 上期	前年度比
発着回数（万回）	18.2	19.7	+8%
関西国際空港（国際線）	7.3	8.6	+18%
関西国際空港（国内線）	2.4	2.3	-6%
大阪国際空港（国内線）	6.9	7.0	+2%
神戸空港（国際線）	-	0.2	-
神戸空港（国内線）	1.6	1.7	+3%
航空旅客数（万人）	2,470	2,753	+11%
関西国際空港	1,534	1,720	+12%
国際線	1,196	1,386	+16%
日本人旅客	242	280	+16%
外国人旅客	947	1,101	+16%
国内線	339	335	-1%
大阪国際空港	753	821	+9%
神戸空港	182	212	+16%
国際線	-	26	-
日本人旅客	-	5	-
外国人旅客	-	22	-
国内線	182	186	+2%
3空港国際線（万人）	1,196	1,412	+18%
3空港国内線（万人）	1,275	1,341	+5%

KIX 国際旅客定期便 2025年冬期スケジュール便数（国・地域別）

- ・ W25 は2025年冬期スケジュールピーク想定12月の計画便数
- ・ S25 は2025年夏期スケジュールにおける9/30現在のピーク便数（8月）
- ・ グラフ中軸上の数値は2024年冬期スケジュールとの同期比較

W25 :  **1,553.5便** (W24比**113%**)  **62社**  **63地点** S25 : 1,529便 65社 68地点

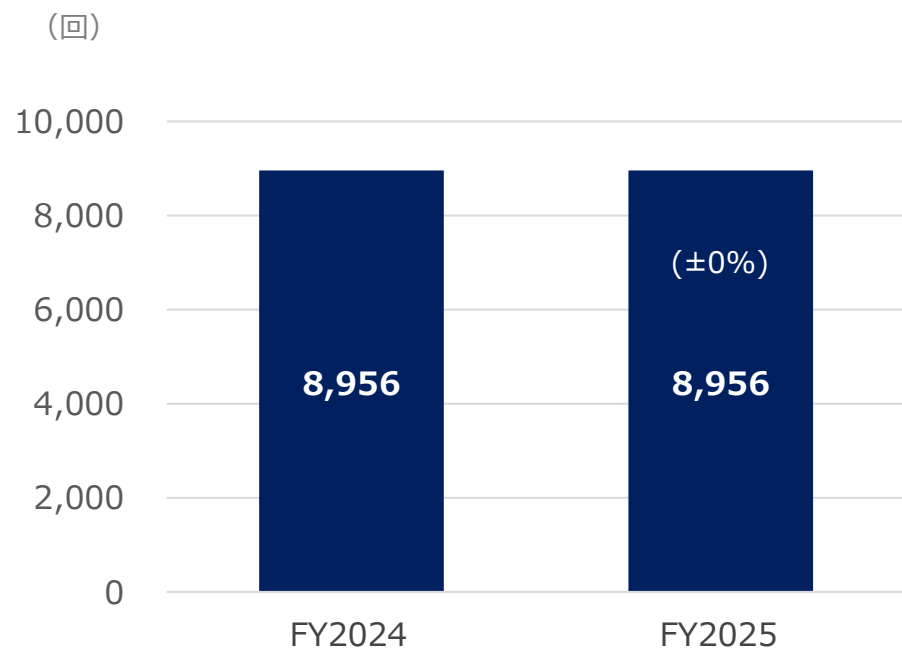


KIX国際線貨物実績（2025年度 4-9月）

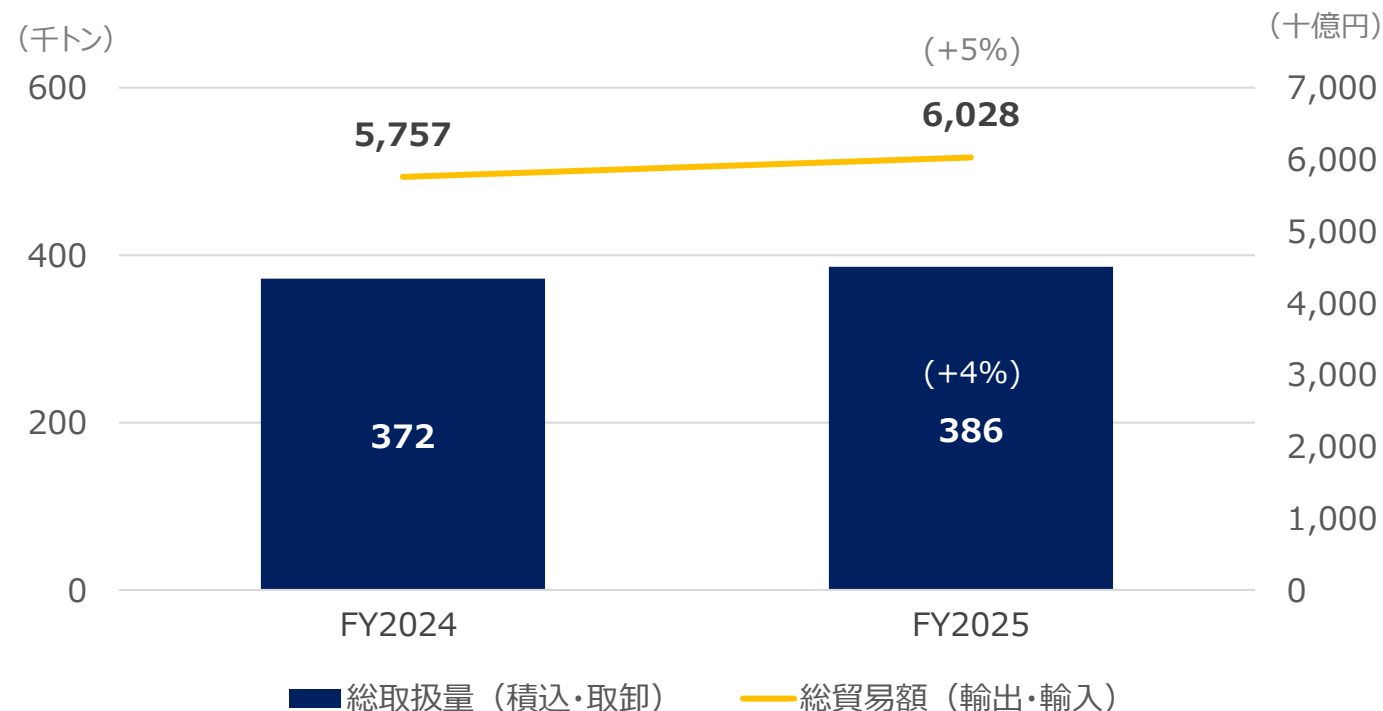
国際線貨物便発着回数は昨年と同水準で推移するも、国際線貨物取扱量は前年比4%増加

- ✈ 国際貨物取扱量は、好調な世界経済を追い風にし、前年同期間と比較すると4%の増。
- ✈ リチウムイオン電池などの一部の商材でスポット出荷などもあり、全体的な貨物量を押し上げたとみられる。中国発日本向けのEコマース輸送需要は堅調に推移。半導体関連や自動車関連の輸送需要は底堅く一定の需要がある。また、医薬品や半導体など高付加価値貨物の取り扱いも増加傾向。

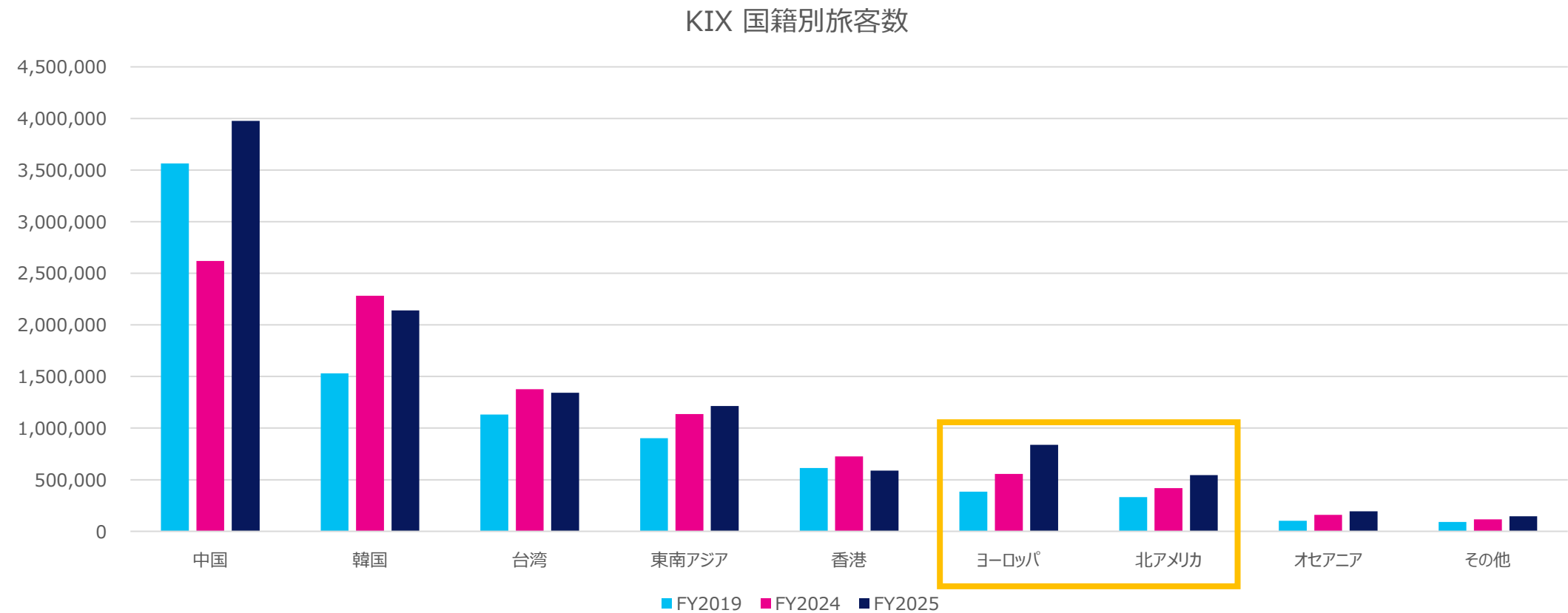
KIX/国際線貨物便発着回数



KIX/国際線貨物量・貿易額



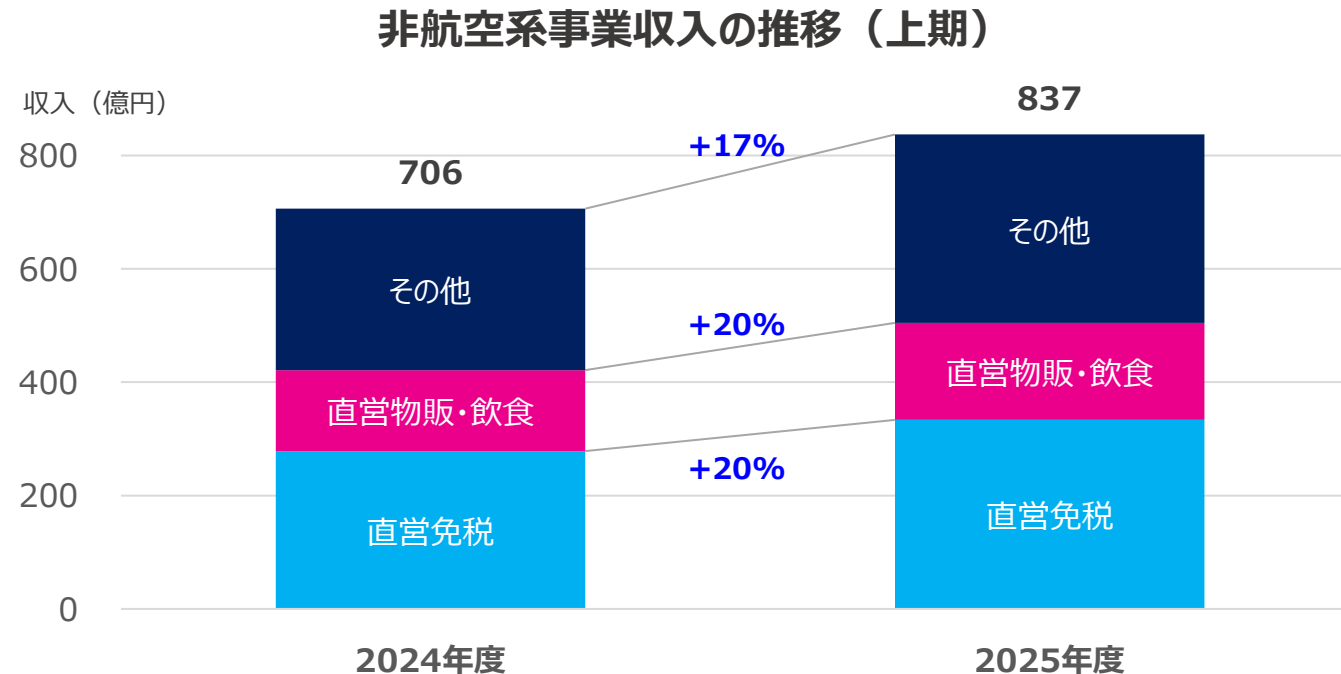
万博期間中の国籍別旅客数比較（2025年度 4-9月）



大阪・関西万博の来場者数のうち、外国人は6%程度だが、万博期間中のヨーロッパ、アメリカからの入国者は、昨年と比較して顕著に増加。大阪、関西の認知度向上が期待できる。

非航空系：国際線商業エリアの好調および旺盛なインバウンド需要により、収入は2024年度を上回り過去最高を更新

- ➔ 2025年度上期の非航空系事業収入は、2024年度実績を上回り、過去最高となる837億円を記録
- ➔ 国際線商業エリアが引き続き好調に推移し、収入増加に大きく寄与。
- ➔ 対2019年（コロナ禍前）比較でも+19%増。
- ➔ 旺盛なインバウンド需要および万博関連商材の販売好調により、直営・テナントともに堅調に推移し、店舗収入全体で増収





2025年度上期の主な取り組み

2025年度上期の主な取り組み

3空港

- ・関西3空港で空の日イベントの実施を発表（10/19, 10/25, 3月）

KIX

- ・実用化された国産SAFの旅客便初供給イベントを実施（5/1）
- ・水素で走る燃料電池マイクロバスを導入（7/14）
- ・第2ターミナルビル国内線リノベーションの着工（8/1）
- ・T1 リノベーション 国際線出国エリアの新規出店店舗を発表（9/19）

ITAMI

- ・ロボット芝刈機の本格運用を開始（4/1）
- ・「ITAMIランウェイウォーク」を開催（7/12）

KOBE

- ・第2ターミナルビル供用開始、および国際線チャーター便初便就（4/18）
- ・第1ターミナルビル3階フードコート「神戸ソラもぐ」をオープン（4/10）
- ・国際線チャーター便就航特別記念イベント「神戸空港ラン」を開催（8/30）



実用化された国産SAFが旅客便に初供給



関西国際空港T1リノベーション（Phase4）
国際線出国エリアの新規出店店舗が決定！



関西国際空港・大阪国際空港に
ロボット芝刈機を導入



神戸空港 3階フードコート
「神戸ソラもぐ」をオープン

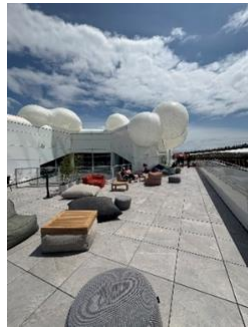


神戸空港 第2ターミナルビル供用開始、および国際線チャーター便初便就航！

万博閉幕後の取り組み（万博レガシーの展示）



オーストラリアパビリオン



ベルギーパビリオン



カナダパビリオン



中国パビリオン



フィリピンパビリオン



タイパビリオン



フランスパビリオン



英国パビリオン



パナソニックパビリオン



住友館



大阪ヘルスケアパビリオン



- ・3空港に「大阪・関西万博」の展示物・作品13点を展示
- ・展示場所や展示期間などは未定
- ・万博の思い出の振り返り、各国との友好の記念として